

2020年4月28日

都道府県連盟代表者 御中
全国種目組織代表者 御中

2020年度の第33回全国スポーツ祭典中止のお知らせ

日頃から各種目組織、地域でスポーツの普及に当たっている皆さんに、心から敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大という局面に際し、4月16日、緊急の全国連盟三役会議が開かれました。会議では、延期となっています全国総会の開催の見通し、福島～東京～広島～長崎1800km反核平和マラソンの開催や各地の反核平和マラソンの開催の準備状況、また第33回全国スポーツ祭典開催の可否などについて検討を行いました。

この中で、今秋から開催を予定している「第33回全国スポーツ祭典」については、新型コロナウイルス感染症の日々の拡大状況の中、予選会開催ができないことや本戦に向けて準備についても終息状況が見えないことや、全国から参加者が移動し集まることなどを考慮し開催は厳しいと判断しました。その判断を受け、4月23日にスポーツ祭典事務局会議を開催し、中止をすることを確認致しました。以上のことから全国種目組織の皆様、また都道府県連盟の皆さまへ中止のご連絡をいたします。

また、この取り組みに対して後援を頂きました地方自治体の関係者並びに、協力いただきました方々に対しても、お詫びを申し上げるとともに、ご理解を頂きますようお願いする次第です。

また今後の対応につきましては、現段階で以下の通りと致します。

<今後の対応> (4月23日時点)

- ・2020年の全国スポーツ祭典として開催は中止としますが、各種目組織で全国競技大会や交流大会として行える組織は個別に判断して開催することは可能です。ただし共通のプログラムや賞状、横断幕等はありません。
2020年に全国競技大会として開催するにあたっては、スポーツ祭典同様の支援も検討します。支援としては祭典要項細則に記載の祭典基金からの補助等。
- ・全国スポーツ祭典分担金につきましては、今年度は無しとします。すでに納入済の組織につきましては、個別にご連絡致します。
- ・2022年の全国スポーツ祭典の主管を関東ブロックとするか、予定している中四国ブロックとするかは、全国連盟理事会で今後討議します。ポスターやスローガンの扱いも同様とします。
- ・各自治体等への後援や協力の依頼を出したところへは後日中止のお詫び文を作成し、提出できるよう準備します。

新日本スポーツ連盟理事長 石川正三
新日本スポーツ連盟スポーツ活動組織局長 宮内泰明